



2012（平成24年）1月 一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会発行

〒330-0843 さいたま市大宮区吉敷町1-124 埼玉県大宮合同庁舎3階

TEL 048-650-0170 FAX 048-650-0171 E-Mail 2004@sainokuni-sasa.or.jp ホームページ <http://sainokuni-sasa.or.jp>

新年のごあいさつ

「復興から日本再生へ」～埼玉の挑戦～



埼玉県知事

一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会名誉会長
上田 清司

一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会関係者の皆様、新年明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに平成24年の新春をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

新しい年は、一刻も早い東日本大震災の被災者の皆様の生活再建と被災地の復興を果たし、そしてその先に新しい日本を築いていく、そんな1年にしたいと思います。

原子力発電所の事故によって、電力エネルギーの3割を原子力に依存しているという実態が浮き彫りになりました。私たちは、今こそ再生可能エネルギーの活用や未来型省エネ技術の開発と、それらを生かしたまちづくりに取り組む必要が

あります。本県では、エネルギーの地産地消に市町村単位で取り組むエコタウンプロジェクトを進めていきます。

これから新しい日本を築いていく上で、新しい産業を育てていくこと、誰もが働きやすい社会をつくること、そしてアクティブな健康長寿社会を築くこと、この3点が鍵になると思います。

新しい産業を育てるために、県内企業が持つ高い技術力をグローバルな舞台で生かすイノベーションの支援を進めていきます。

また、イノベーションの鍵は人材です。県では10億円の基金を設けて、グローバル人材の育成に取り組んでいますが、更にこの取組を充実させて、人材育成面からイノベーションを支えていきます。

北欧諸国では、女性の高い就業率が家計所得と消費を押し上げ、経済を元気にしています。これを手本に女性の社会進出を図るため、県と経済界、労働界が一体となって、誰もが働きやすい埼玉づくりを進めていきます。

国民医療費の約3分の1が生活習慣病によるものと言われており、その対策を徹底することができれば国民負担を大きく減らすことができます。意欲ある市町村が本気になって取り組めば、大きな成果が期待できます。医療費を減らすだけでなく、高齢者が社会にアクティブに参加していく健康長寿社会の枠組みを市町村と一緒につくっていきます。

これらの取組はまさに大きな挑戦です。素晴らしい企業と人材が集まる埼玉ならそれができると信じています。

協会関係者の皆様とは、スポーツを通じた障害者の社会参加を図るとともに、障害者スポーツの更なる振興に取り組んでいきたいと思っております。

県民の皆様、地方からこの国を変える埼玉の挑戦にぜひ一緒に取り組みましょう。

We are the one ～こころひとつに～

一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会
会長 塩浦 綾子



新年明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は3月11日以降「“We are the one” みんなひとつ」のコンセプトのもと「がんばろう!日本」、「がんばるぞ埼玉」を掲げ、関係者全員が心をひとつに諸事業に取り組んでまいりました。

「彩の国ふれあいピック春季大会・秋季大会・球技大会の開催」「全国障害者スポーツ大会“おいでませ山口大会”への参加」。また、自主事業としては、引き続き「

出前スポーツ教室」「親子水泳教室」プロ野球OB会や戸田中央総合病院ソフトボールチームの協力による「エンジョイ野球教室」「ソフトボール教室」並びに「世界にはばたけ“彩の国選手育成強化練習会”等を開催。大会として、「ボッチャ大会」「四面卓球バレー大会」浦和レッズ、大宮アルディージャとの共催事業の「サッカー大会」等を実施いたしました。「おいでませ山口大会」では、「君の一生けんめいに会いたい」の大会スローガンのもと、埼玉選手団は“一生けんめい”大会に臨み、個人競技総合4位、また、バレーボール（精神障害）では団体競技初の優勝の栄に欲することができました。

また、新規事業・国庫補助モデル事業「ふれあい地域振興事業」として、「女子サッカー教室（4回）」「野球教室」「フットサル大会」及び「ウォーキング」を実施いたしました。

本年も当協会のスローガンである「SPORTS FOR EVERYONE」のもと“だれもが・いつでも・どこでもスポーツ”を楽しみ親しめるよう、より地域に根ざして、諸事業に全力で取り組んでまいります。

引き続き埼玉県、正会員、賛助会員、特別会員を始め障害者のスポーツ活動に関わる多くの皆様の温かいご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。新年の挨拶といたします。

新年の抱負



全国障害者スポーツ大会、彩の国ふれあいピック大会に参加した選手、スタッフやこの大会を目指す皆さんから年頭に当たっての抱負が寄せられました。

感動と笑顔あふれる一年になりますように願いをこめて、ここに紹介いたします。

フットベースボール
埼玉県チーム

選手 有原 正純

「新年明けましておめでとうございます。今までの過酷にやって来た練習の成果を発揮し関東ブロックに向けて全国制覇を目指します。今年で結成してから10年目になりますが、未だ関東ブロックでさえ自力優勝もあと少しの所で逃し、無条件で行けた静岡大会と埼玉国体大会を経験したのみでくやしい思いです。それ以降は本当に毎年のように東京相手に負けて準優勝で、どうせなら優勝して全国制覇したいです。今年こそ関東ブロックで勝って全国に行きたいです。」



バレーボールチーム
「埼玉ドリーム」

選手

谷口 翔太
安野 利絵

谷口 翔太

「今年は、去年よりも強い埼玉ドリームにしたい！頑張ってチームを引っ張っていきます！」

安野 利絵

「今年は、東京都チームに勝って、全国大会に行きたいです！大きな声を出して集中して頑張ります！」



埼玉県障害者
フライングディスク
協会

理事 坂田 正彦

「新年おめでとうございます。昨年は全スポ山口大会・ふれあいピックをはじめ、多くの県内フライングディスクアスリートたちが活躍しました。当協会だけでは果たせない難題も、皆様のご支援ご鞭撻を受け賜り、乗り超えることができました。ありがとうございました。さて今年にはフライングディスク公式競技種目の枠を飛び越えて、障害の有無に限らず広く子供から高齢者までが楽しめる「フライングディスクフェスティバル」（平成24年2月12日(日)東松山市南地区体育館で午後1時から）を開催します。これまでの障害者フライングディスクで積み上げてきた様々な種目を工夫した、「いつでも、だれでも、どこでも」楽しめるユニバーサルなレクリエーション・フライングディスク大会です。埼玉のアクセラシー・ディスタンスは、全国でもトップレベルを誇る選手層が厚い中、もっとディスクを握って楽しめる人々の裾野を広げようという、これまでにない試金石です。当協会は、公式競技の選手強化と指導者育成も進めつつ、障害を持つ人も持たない人も一緒にディスクを楽しもう、親しもうという設立11年目の一歩として決意を新たにしています。今後とも、よろしくお願い申し上げます。」

埼玉県障害者
アーチェリー
協会

会長 福田 孝一

「昨年度私達の協会です晴らしい事として第53回全日本ターゲット選手権大会コンパウンド女子個人決勝（一般を含む）で平沢奈古選手が三位の成績を収めました。また2011ジャパンパラリンピックアーチェリー競技大会で原口章選手、平沢奈古選手が金メダルを獲得しました。一重に選手の努力の賜ですが記録すべき出来ごとでした。また、ロンドンパラリンピックに向けた選手選考がありました。選手は強化合宿、海外遠征等鋭意努力しましたが選ばれませんでした。残念なことですがこのことは、次の大会への大きな糧となる事でしょう。」

私達の練習会場は交流センターが主な所ですが、3.11の地震以降被災者受け入れや台風でのネット破損などで、ほとんど練習できなく選手は練習会場に苦勞しました。（12月21日より使用可能）

今年目標として、交流センターによる初心者教室での選手育成の協力、全国障害者スポーツ大会への選手育成、および原口選手、平沢選手に続く選手が出るよう、協会一丸となって頑張りたいと願っています。」



埼玉県障害者
スポーツ指導者
協議会

指導員 宮嶋 健一

「私は、スポーツが大好きである。そしてその楽しさを広め、あるいは分かちあっていきたい。」そんなシンプルな思いから、係ってきた障害者スポーツ指導者への道。昨年は、スポーツ基本法が施行され、益々、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことの大切さが叫ばれています。その中で、障害者が自主的かつ積極的にスポーツを行うことができるよう私も一指導員として取り組んでいきたいと思います。例えば、地域スポーツとして魅力のある競技の創設やこれまで行っていない地域での大会の実施など。思いはシンプルに、そして活動は具体的に、そんなスタイルで本年はやっていきたいと思います。」

埼玉県障害者
卓球協会

横山 二三男

「明けましておめでとうございます。昨年、来日されたブータン国王夫妻。先進国にない魅力のある国と評判になりました。ブータンの国のシンボルは“竜”とか。被災地を訪れた国王は、子供たちに「皆さんの心に竜はいますか？」とたずねられたそうです。“竜”は時には、強い信念の核となるものを表す象徴ともいえるようです。昨年度も、全国障害者スポーツ大会「おいでませ、山口大会」に、埼玉県選手団卓球コーチとして参加させていただき、「がんばろう！日本」の強い思いを新たにしました。スポーツを通して、障害のある人が、時に激しく闘い、試合が終われば、お互いの健闘をたたえあう姿に、感動しました。厳しい練習もあるけれど、その成果として目標

を達成した喜びを感じる。協会の一員として今年、競技参加者を増やして、多くの仲間卓球を楽しんでいただきたい。“竜”の年に、卓球を愛する人たちが、気持ちを新たに強い信念を持ち続ける年になることを祈っています。」

埼玉県障害者
ソフトボール
協会

会長 山下 晴巳

「明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。昨シーズンは、大会参加、強化練習、ソフトボール教室など今までにも増して積極的に取り組んでまいりました。昨年4月東京都で行われた全国大会関東ブロック地区予選会では「埼玉県チーム」は2回戦、「さいたま市チーム」は1回戦で敗退しましたが、随所に練習の成果を発揮することができ次に繋がる意義ある敗戦だったと思います。今年には地元さいたま市で関東ブロック地区予選会が開催されますので今まで以上に強い気持ちでチームを結束し、全国大会である“ぎふ清流大会”の出場権

を得たいと考えています。私達は全国のどのチームにも練習量では負けないと思っています。また、トップ選手の指導も受けられる機会も多く、練習内容も負けないと思っています。今年こそ練習で得た成果が試合で十分発揮できるよう先ず関東大会までの4ヵ月間全力で練習に臨みたいと考えています。今年もスポーツの原点である“ソフトボールの楽しさ”を忘れずに取り組む所存でございますので、ご関係の皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げます。」



彩の国トップアスリートからの 新春メッセージ



氏名 50 音順の掲載です。

埼玉県を代表するトップアスリートから新春メッセージをいただきました。
今シーズンもトップアスリートからのメッセージを胸に頑張りましょう！！

KOBATON

なでしこジャパン 安藤 梢 選手



新しい年が始まります。2012年はロンドンオリンピックが開催されます。
なでしこジャパンは昨年ドイツで行われたワールドカップで優勝しました。私たちの目標は、ロンドンオリンピックでも金メダルを獲得することです。そのためにはチーム全体が更に成長して、新しい挑戦をすることが必要です。
私の所属するドイツのデュースブルクは、日本ではスポーツシューレがある街として有名です。施設は緑と湖に囲まれた素晴らしい環境にあります。
その昔、クラマーコーチの指導のもとにスポーツシューレで合宿を行った川淵チェアマンは、『障害者の皆さんがボールゲームを楽しんでいることにショックを受けました。（その人々を支えるために）大人も子供も大勢がボランティアで、喜々としてお手伝いをしている。こういうところに生まれた人は幸せなんだろうな』と語っていました。
こうした地域に根ざしたスポーツ環境と、すべての人々がスポーツを楽しむ幸せな姿に、今年はずっとたくさん出会いたいと思っています。

浦和レッドダイヤモンズ 加藤 順大 選手 (GK/ 背番号18)

みなさん、新年明けましておめでとうございます。
浦和レッズの加藤順大です。

2011年は、個人としては、プロ生活9年目にして、念願のJリーグデビューを果たすことができましたが、チームとしては不本意な成績に終わり、非常に苦しいシーズンでした。でも、そんな中でも、多くの方々から熱いサポートをいただき、僕自身強い気持ちを持って前向きに取り組むことができました。

チームが上を目指し優勝を果たすために、僕もこれから一層精進したいと思います。2012年は、昨年とは異なる浦和レッズの姿をお見せできるよう、頑張ります。

We are REDS!!



©浦和レッズ

埼玉県庁 川内 優輝 選手



(昨年の実績)

東京マラソン	3位 (併催の日本選手権 優勝)
世界陸上テグ大会	18位 (併催のワールドカップマラソン 団体銀メダル)
大阪マラソン	4位
福岡国際マラソン	3位

(新年の抱負)

「現状打破 (自己記録更新・常識への挑戦など)」を目指します。

(スポーツに取り組む障がい者の皆さんへ)

「人間には『個性』があります。ある人にとっての『常識』が自分にとっても『常識』であるとは限りません。自分自身で考え、自分自身にあった『目標』や『トレーニング方法』を見つけることで『本当のスポーツの楽しさ』を知ることができると思います。今年も『現状打破』を目指して様々な『常識』に挑戦していきますので、皆さんも柔軟な発想で様々な『常識』に挑戦していただけたらと思います。」

埼玉ブロンコス #7 北向 由樹 選手

昨年は応援ありがとうございました。
プロバスケットボールチーム埼玉ブロンコスの北向由樹です。

【今年の抱負】

今年は埼玉県内にてオールスターゲームが開催されます。(1月15日@さいたまスーパーアリーナ) 僕たちのホームタウンでの開催なので、埼玉の名に恥じぬよう頑張りたいと思います。また、オールスター地元開催を機にシーズン後半戦、勢いに乗っていきたいと思います。ぜひ会場に来ていただき、熱い応援をよろしくお願いたします。

【スポーツに取り組む障がい者への激励】

何でも好きな事、楽しむ事から全てが始まると思います。まずは全力で楽しんで行きましょう！



(C) HIROKO WATANABE / SAITAMA BRONCOS / bj-league

bj リーグ 2011-2012 シーズン 埼玉ブロンコスホームゲーム

日程	開場時間	試合時間	対戦相手	会場	日程	開場時間	試合時間	対戦相手	会場
1月	28日 土	16:15	18:00	島根スサノオマジック	3月	11日 日	12:15	14:00	千葉ジェッツ
	29日 日	12:15	14:00	島根スサノオマジック		31日 土	16:15	18:00	仙台89ERS
2月	11日 土	16:15	18:00	宮崎シャイニングサンズ	4月	1日 日	12:15	14:00	仙台89ERS
	12日 日	12:15	14:00	宮崎シャイニングサンズ		14日 土	16:15	18:00	ライジング福岡
	18日 土	16:15	18:00	大阪エヴェッサ		15日 日	12:15	14:00	ライジング福岡
	19日 日	12:15	14:00	大阪エヴェッサ		28日 土	16:15	18:00	新潟アルビレックスBB
3月	10日 土	16:15	18:00	千葉ジェッツ	29日 日	12:15	14:00	新潟アルビレックスBB	

※左記日程・会場・時間は変更になる場合もございますのでご了承ください。変更等がある場合、埼玉ブロンコスオフィシャルホームページにてお知らせ致します。ご確認の上、ご来場お願い致します。
(<http://www.saitamabroncos.com>)



©SEIBU Lions

埼玉西武ライオンズ #1 栗山 巧 選手

【今年の抱負】

「昨年は、たくさんのご声援をいただきありがとうございました。
今シーズンは、昨年の悔しさを心に秘め、チーム一丸となりパシフィック・リーグ優勝、日本一をめざして、頑張ります。
今年も、埼玉西武ライオンズに、みなさまの熱いご声援をよろしくお願いたします。」

【スポーツに取り組むみなさまへ】

「スポーツを通じて交流の輪を広げ、たくさんの方々との絆を大切にしてください。そしてスポーツを心から楽しみながら、さまざまな分野にチャレンジしてください。ライオンズ選手一同、みなさまの活躍を期待しています。」

なでしこジャパン 佐々木 則夫 監督

関係各位の皆さん、新年あけましておめでとうございます。

昨年は、なでしこジャパンに熱い応援をいただき誠にありがとうございました。世界の頂点を目標に選手、スタッフ一丸となって戦い念願の夢を達成することができました。

私たちは、世界の『なでしこ』になるをビジョンに活動し、ピッチ内外において、ひたむき、しんが強い、明るい、礼儀正しい等、代表チーム30年の経過から『なでしこ』らしさを常に心がけ活動しております。この結果、優勝と、フェアプレー賞も獲得することができました。これは男女W杯優勝国の中で初の快挙なのです。

また活動するにあたり、私の選手への働きかけのモットーは、『大好きなサッカー失敗を恐れない。成功の反対は、失敗ではなくチャレンジしないこと。』

これは、なでしこだけではなく、皆様にも相通ずるのではないのでしょうか。皆さんも私たち同様に、スポーツで学び未来に向け羽ばたいてまいりましょう。

今年にはロンドン五輪。金メダルを目指し、さらに精進し各競技団体と共にチームジャパンとして頑張ります。今後とも熱いご声援をよろしくお願致します。



浦和レッズレディース 堂園 彩乃 選手 (MF/背番号6)



新年あけましておめでとうございます。浦和レッズレディースの堂園彩乃です。昨シーズンを振り返ってみて、前半戦は点が取れない事もあり、なかなか結果が出せなくて、自信を持って自分達のサッカーが出来ませんでした。でも、試合やトレーニングを重ねる度にチームとして成長が感じられ、結果、後半戦は負け無しでリーグ戦を終わる事ができました。

しかし、3位という結果には満足していません。個人的にはケガ人が多いシーズンでしたが、ケガ無く全試合出場出来たことは良かったと思います。

2012シーズンは、昨年同様にケガ無く全試合出場はもちろんの事、さらにレベルアップしていきたいと思います。目指すところはタイトルのみです。

昨年、なでしこジャパンが世界一になり、日本に感動を与えてくれたように『スポーツ』とは元気をくれたり、勇気をくれたり、すごくパワーがあるものだと思います。私も試合を観に来て下さった方々にたくさんのものを与えられるように頑張りたいと思いますので、皆さんも元気に楽しくがんばっていきましょう！

大宮アルディージャ 宮崎 泰右 選手 (MF/背番号25)

新年明けましておめでとうございます。大宮アルディージャの宮崎泰右です。

昨シーズン、トップチームに昇格しましたが、中々試合に絡むことができず自分にとっては悔しいシーズンになってしまいました。

ただ、プロの世界でとても良い経験ができ、成長出来た一年だったと思います。

今年は、まずは試合に出ることを第一の目標として、選手としても人間的にもひとまわりもふたまわりも大きくなるように頑張ります。

そして自分自身サッカーを楽しみ、皆さんに勇気をあたえられるような選手になりたいと思います。

ご声援、よろしくお願いいたします。



戸田中央総合病院女子ソフトボール部 山崎 泰稔 監督



新年明けましておめでとうございます。昨年もソフトボール教室にお招きいただきまして本当にありがとうございました。

昨シーズン、私たち戸田中央総合病院女子ソフトボール部は、大きな目標でありました1部復帰をチーム一丸となって達成する事が出来ました。

今年の抱負としまして、選手一人一人、またチーム全体がレベルアップし、1部リーグの舞台で活躍できるよう頑張っていきますので、今後ともご声援よろしくお願い致します。

ソフトボール教室を通して、スポーツに取り組む障害者の皆様には、スポーツを楽しむことの大事さを教えていただきました。また皆様と一緒にスポーツを楽しみたいと思っております。皆様の活躍を期待しています。お互いに頑張りましょう。



みんなひとつ
We are the one



ふじ学園A、さわやか②が優勝

平成23年度彩の国ふれあいボッチャ大会を平成23年12月10日(土)埼玉県立武道館主道場において開催しました。

競技部門11チーム、交流部門19チームの計30チームが参加しました。大会結果は次のとおりです。

大会結果

【競技部門】

優勝 ふじ学園A
準優勝 ひまわり会A
第3位 ひまわり会C

【交流部門】

優勝 さわやか②
準優勝 リハセンなでしこ
第3位 川島ひばりが丘特別支援学校



彩の国ふれあいピックサッカー大会

青空のもとで 県内19チームが参戦

平成23年度彩の国ふれあいピックサッカー大会を平成23年12月11日(日)18日(日)さいたま市荒川総合運動場サッカー場において開催しました。

チャンピオンシップの部12チーム、フレンドシップの部7チームの計19チームが参加しました。大会結果は次のとおりです。

大会結果

【チャンピオンシップの部】

優勝 チーム桜A
準優勝 FC埼玉RED
第3位 FC埼玉WHITE

【フレンドシップの部】

優勝 うらわSC A
準優勝 川口特別支援学校
第3位 春日部特別支援学校



スポーツ教室・スポーツ大会

たくさんの笑顔とともに 県内各地で開催



羽生市障がい者スポーツ大会
【ボール相撲】



行田市障害者(児)スポーツ・レクリエーション大会
【ボッチャ】



本庄市・上里町合同ソーシャルクラブ
【ストレッチ、ボッチャ】



松伏町障害者スポーツ・レクリエーション大会
【団体種目 大玉転がし】

❀羽生市❀

＜日程＞
平成23年10月1日(土)
＜会場＞
羽生市体育館
＜実施種目＞
紅白玉入れ競争、
ボール相撲 他

❀行田市❀

＜日程＞
平成23年11月12日(土)
＜会場＞
行田グリーンアリーナ
＜実施種目＞
風船バレー、ボッチャ 他

❀本庄市・上里町❀

＜日程＞
平成23年11月17日(木)
＜会場＞
上里町多目的スポーツホール
＜実施種目＞
ストレッチ、ボッチャ

❀松伏町❀

＜日程＞
平成23年11月19日(土)
＜会場＞
松伏町B&G海洋センター
体育館
＜実施種目＞
ターゲットボッチャ、
大玉転がし 他



スポーツをとおして交流 ～総合的な学習の時間～

上尾市立大石中学校「総合的な学習の時間(福祉)」が平成23年11月25日(金)、同中学校体育館等において実施され、埼玉県障害者卓球協会からサウンドテーブルテニスの郷忠治選手、大井田弘子選手、五十嵐ひろみコーチ、埼玉県障害者ボッチャ協会から奈良淳平選手及びアシスタント、車椅子バスケットボール「埼玉ライオンズ」から齋藤智之選手、篠田匡世選手、原田翔平選手、及び一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会スタッフの計12名が講師として参加し、種目体験を通して交流を図りました。

ふれあいウォーキング

季節を感じながら ～紅葉の氷川参道を歩きました～



ふれあいウォーキングを平成23年11月20日（日）開催し、参加者49名（障害のある人28名、同伴者17名、交流しながらウォーキングを楽しみたい人4名）、スタッフ28名が参加しました。

当日は天気にも恵まれ、午前9時30分にさいたま新都心駅で出発式・準備体操の後、6グループに分かれてスタート。武蔵一の宮氷川神社一の鳥居から色とりどりに紅葉した木々の氷川参道を通り、氷川神社で参拝後大宮公園へ。小動物園で全体集合し、ゴールの大宮公園駅を目指しました。約4kmのコース（特別コースは大宮合同庁舎出発・解散）を2時間半ほどかけて、全員が完歩しました。

ふれあい野球教室

笑顔のキャッチボール ～みんなの気持ちがひとつになりました～



ふれあい野球教室を平成23年11月26日（土）さいたま市営浦和球場において、浦和学院高等学校野球部を講師にお招きし開催しました。

開講式では主催者を代表して一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会松本洋副会長の挨拶のあと、浦和学院高等学校野球部顧問・埼玉県高等学校野球連盟理事長高間薫様からご挨拶をいただきました。

教室は「ふれあい」「投げる」「守る」「打つ」「ふれあい」の5部構成で行い、「投げる」「守る」「打つ」では、野球の基本であるキャッチボール、トスバッティングの大切さを学びました。最後の「ふれあい」の中では、浦和学院高等学校野球部によるデモンストレーションや参加者から選手への質問コーナー等で交流を図り、教室は終了しました。

ふれあい女子サッカー教室

ボールは友だち ～みんな友だちになりました～

《所沢会場》

ふれあい女子サッカー教室（第2回所沢会場）を平成23年11月23日（水・祝）国立障害者リハビリテーションセンター陸上競技場において開催しました。

講師には第1回目から引き続き、元なでしこ JAPANの北本綾子さん、元浦和レッズレディースの木原梢さんをお招きし、会場地の所沢市内だけでなく狭山市・加須市・入間市内の特別支援学級の生徒にもご参加をいただきました。

準備運動の後のじゃんけん列車では、優勝した参加者に北本コーチから王冠が贈られました。ボールに慣れたあとは、2チームに分かれてのゲームを行い、最後にサッカーボウリングを行い教室は終了しました。



《富士見会場》



ふれあい女子サッカー教室（第3回富士見会場）を平成23年11月27日（日）富士見市立諏訪小学校校庭において富士見市教育長をお迎えし開催しました。

今会場では元なでしこ JAPANの北本綾子さん、元浦和レッズレディース木原梢さんに加え元日本代表・元浦和レッズレディースの高橋彩子さんを講師としてお迎えしました。

富士見市・朝霞市・和光市・さいたま市内の特別支援学級・特別支援学校の生徒、OBや富士見市を活動拠点とするサッカーチームにご参加をいただき、終始賑やかな雰囲気の中教室を行うことができました。

《羽生会場》

ふれあい女子サッカー教室（第4回羽生会場）を平成23年12月3日（土）羽生市立岩瀬小学校において開催しました。

講師の元なでしこ JAPANの北本綾子さん、元浦和レッズレディースの木原梢さんのご指導のもと、羽生市・行田市・久喜市内の特別支援学級、特別支援学校等から集まった参加者がサッカーに取り組みました。

当日は雨天のため体育館での開催となりましたが、体育館内は参加者の笑顔と歓声に溢れていました。



サッカー教室の会場をご提供くださいましたご関係の皆様にご心から感謝申し上げます。